

(2018年度)

5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

設問1 次の文を読み、問(1～2)に答えなさい。

東南アジアは早くから外の世界と交流し、その影響を取り入れながら独自の文明を築いてきた。大陸部では、北部の山地から発する大河の下流域に王朝が成立した。1世紀末には、メコン川下流域に(1)が建国された。6世紀には、メコン川中流域にクメール人の王国が成立した。中国側から(2)と呼ばれたこの王国は12世紀には最盛期を迎えた。(3)はこの時期に造営された大規模な寺院である。

6世紀頃、(4)がチャオプラヤ川下流域にドヴァーラヴァティー王国を建てた。この国は(5)を導入して発展したが、11世紀頃に衰退した。

エーヤワディー(イラワディー)川下流域には、4世紀頃から9世紀まで、ビルマ系のピュー人が建てた国家があった。11世紀にはこの川の流域にビルマ人の王朝、(6)が成立した。この王朝は、13世紀に(7)の攻撃を受けて滅亡した。

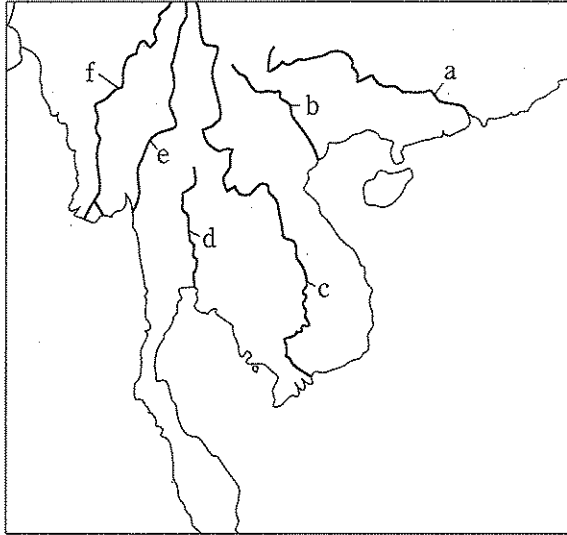
東南アジア諸島部では、7世紀半ばにスマトラ島南部を中心として(8)が成立した。7世紀後半、唐の僧(9)はインドへの往復の旅の途中、この地に滞在し、(10)が盛んに行われていたことを記している。ジャワ島中部では、8世紀に(11)が繁栄した。大規模な大乘仏教寺院(12)は、この王朝のもとで造営された。

問1 文中の空欄(1～12)に入る最も適切な語は何か。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 大越国 b チャンパー c 扶南
d シュリーヴィジャヤ王国
- (2) a 林邑 b 真臘 c 三仏斉 d 扶南
- (3) a ボロブドゥール b ナーランダー僧院 c プランバナ
d アンコール=ワット
- (4) a モン人 b チャム人 c タイ人 d ベトナム人

- (5) a ゴロアスター教 b 上座部仏教 c ヒンドゥー教
d イスラーム教
- (6) a タウンゲー(トゥンゲー)朝 b コンバウン(アラウンパヤー)朝
c クディリ朝 d バガン朝
- (7) a 明 b 李朝 c 元 d スコータイ朝
- (8) a アチェ王国 b シュリーヴィジャヤ王国
c マジャパヒト王国 d マラッカ王国
- (9) a 玄奘 b 法顕 c 義浄 d 玄宗
- (10) a 大乘仏教 b 上座部仏教 c ヒンドゥー教
d イスラーム教
- (11) a マタラム(古マタラム)朝 b スコータイ朝
c シャイレンドラ朝 d アンコール朝
- (12) a ボロブドゥール b ナーランダール僧院 c プランバナ
d アンコール=ワット

問2 問題文の下線部に関して、下の地図を参照しながら、以下の問に答えなさい。



- (1) 下線部(ケ)は地図上のどこにあるか。記号(a～f)から1つ選びなさい。
- (2) 下線部(イ)は地図上のどこにあるか。記号(a～f)から1つ選びなさい。
- (3) 下線部(ウ)は地図上のどこにあるか。記号(a～f)から1つ選びなさい。

設問2 以下の説明にもっともふさわしい人物はだれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

問1 トルコ共和国の初代大統領として、諸改革を行い、近代国家の基礎を築いた。

- | | | | |
|---|-------------|---|----------|
| a | ムスタファ＝カーミル | b | レザー＝ハーン |
| c | ムスタファ＝ケマル | d | ミドハト＝パシャ |
| e | ムハンマド＝アブドゥフ | | |

問2 インドネシアの民族主義運動指導者で、初代大統領に就任した。

- a スハルト b メガワティ c スカルノ d ユドヨノ
- e カルティニ

問3 第4次中東戦争時のエジプト大統領である。イスラエルに対してシリアとともに戦ったが、後にイスラエルとの間に平和条約を締結した。

- a ナセル b ムバラク c アラファト d ナギブ
- e サダト

問4 19世紀末、カティプーナン党を率いてフィリピン革命を指導し、フィリピン共和国(マロロス共和国)の大統領に就任した。

- a ホセ=リサール b イダルゴ c サン=マルティン
- d ボニファシオ e アギナルド

問5 全インド=ムスリム連盟の指導者である。インドのイギリスからの独立をめぐり、当初は国民会議派と協力したが、後にパキスタンの分離・独立を主張した。

- a ラーム=モハン=ローイ b ネルー c ジンナー
- d ブット e ガンディー

問6 シンガポールの政治家で、1965年のマレーシアからの離脱以降、1990年まで首相を務めた。

- a マハティール b リー=クアンユー c ネ=ウイン
- d ゴー=チョクトン e マルコス

問7 第2次世界大戦後、イラン首相として石油国有化を実行した。

- a モサデグ b レザー=ハーン c アフガーニー
- d ホメイニ e アフマディネジャド

帰った積荷は、膨大な量の中国産・日本産絹糸・絹織物などからなり、その総額は、当時のイギリス政府の年間歳出額に迫るほどであった。

当時は、商船であれ武装していたし、^(G)オランダは独立戦争中であつた。また、^(H)15～16世紀にカトリックのポルトガルやスペインの間で、海外領土分割の取り決めがなされていたが、プロテスタント諸国がそれに従うはずもなく、イギリスやオランダは、ポルトガルやスペインと激しく対立していた。

さて、カタリナ号の積荷の処理にあたって、提督は思わぬ問題にぶちあたつた。この没収品が誰に帰属するのかをめぐって、争いがおこつたのである。発端は、^(I)プロテスタントのなかでも厳格な平和主義者として知られるメノー派の株主たちにあつたとされる。彼らは会社の海上捕獲行為を非難し、没収品からの利益配当を拒否して会社を弾劾したのである。本件の争点は、ホームスケルクの攻撃が正当なものだったか、であつた。是とする立場は、没収品を正当な戦争の戦利品とみなす。非であれば、不当な戦争で得られた没収品は相手方の国に返還しなければならない。

このときオランダ東インド会社が弁護を依頼したのが、新進気鋭の弁護士 ^(J)グロティウスであつた。彼が執筆した意見書の一部は、後に『海洋自由論』として公表され、それは国際法における公海自由原則の確立に寄与することになった。「近代自然法の父」「国際法の祖」と称されるグロティウスの初期の著作は、このように、大航海時代の猛々しい紛争から紡ぎ出されたものであつた。

問1 下線部(A)の説明で誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジェノヴァ出身の船乗りである。
- b スペイン王ジョアン2世の支援を受けて出航した。
- c 地球球体説を信じ、西まわりでアジアに到達できると考えた。
- d バハマ諸島、キューバ島、イスパニョーラ島を探検した。
- e 死ぬまで自分の発見したところは「インド」だと思っていた。

問2 下線部(B)の地がインドでなくて、ヨーロッパ人にとって見知らぬ「新大陸」であることを主張した人物は誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アメリゴ＝ヴェスプッチ b カブラル c カボット
- d パルボア e バルトロメウ＝ディアス

問3 下線部(C)にある、アメリカ先住民の「苦難」の実例として、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ヨーロッパの植民者により、過酷な鉱山労働に駆り出され、多くの死者が出た。
- b ヨーロッパ人がもたらした伝染病のために、多数の死者がでた。
- c 先住民強制移住法により過酷な移動を強いられ、多くの死者が出た。
- d 大陸間をつなぐ奴隷貿易の対象となり、移住先の農耕労働で酷使された。
- e ヨーロッパ人の征服者によって、先住民の王国が滅ぼされた。

問4 下線部(D)の説明として正しいものはどれか。選択肢(a～e)からあてはまるものをすべて選びなさい。

- a 国王の与える特許状によって成立した特権的貿易会社である。
- b 複数の会社が連合してつくった貿易会社で、世界初の株式会社であった。
- c 創設後ほとんど機能しなかったが、1664年コルベールが再建した。
- d 他国との競争や汚職による財政悪化のなか、フランス革命の余波で、18世紀末に解散した。
- e 自由貿易を望む声に押され、19世紀初頭にインド貿易独占権を失った。

問5 下線部(E)の周辺諸国の動向について、誤った記述はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジャワ島にあるバンテン王国がオランダとの貿易競争に敗れて衰退した。
- b スマトラ島にあるアチェ王国が、香辛料貿易の中心地として栄えた。
- c アチェ王国は、ポルトガルのマラッカ占領に反発するムスリム商人を受け入れた。
- d ジャワ島にあるマタラム王国は、内紛とオランダの介入で王家が分裂した。
- e スマトラ島にあるコンバウン(アラウンパヤー)朝は、イギリスとの三次の戦争に敗北した。

問6 下線部(F)の17世紀初頭の状況について、誤っている説明はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 王家が断絶したことを機に、スペインに同君連合の形で併合されていた。
- b アジアの重要な貿易拠点であるマラッカをイギリスに奪われた。
- c 以前に結んでいたスペインとの海外領土分割条約によって、アジア進出を確固としたものにしていった。
- d アジアへの航路開発をヨーロッパで最も早く成し遂げた国であった。
- e マカオを拠点として対明貿易を発展させていた。

問7 下線部(G)の次の政策や出来事を年代順に並べると、3番目に来るものはどれか。その記号を選びなさい。

- a テューダー朝の断絶
- b スペイン無敵艦隊に対する勝利
- c 国王至上法(首長法)の制定
- d 東インド会社の設立
- e ジェームズタウンの建設

問8 下線部(G)の17世紀の王の説明として正しいものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジェームズ1世はスコットランド王であったが、血統からイングランド王に即位した。
- b ジェームズ2世はイギリス革命(ピューリタン革命)の際に処刑された。
- c チャールズ1世はイギリス革命後外国に逃げているが、帰国して王政復古を実現した。
- d チャールズ2世に対して議会は権利の請願を提出した。
- e チャールズ2世は名誉革命によって国を追われた。

問9 下線部(H)について、誤っている説明はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ネーデルラントは、16世紀半ばにスペイン領になった。
- b カトリック強制をするフェリペ2世に抵抗して、1568年に戦いが勃発した。
- c カトリックの多い南部10州は、この戦いから途中で離脱した。
- d 新教徒の多い北部7州は、1581年に独立を宣言し、連邦共和国を樹立して、戦いを継続した。
- e 1598年のスペインとのユトレヒト条約によって、オランダは実質的に独立を獲得した。

問10 下線部(I)について、オランダにおける主流派の呼称は何か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a プレスビテリアン b ゴイセン c ユグノー
- d ピューリタン e ルター派

問11 下線部(J)の書いた書物はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 『人間不平等起源論』 b 『リヴァイアサン』
- c 『戦争と平和の法』 d 『統治二論』 e 『法の精神』

問12 大航海時代の宗派对立を表す下記の出来事を年代順に並べると、3番目に来るのは何か。その記号を選びなさい。

- a ユグノー戦争の開始
- b サン=バルテルミの虐殺
- c イギリス国教会の成立
- d トリエント公会議の開始
- e ナントの王令(勅令)の発布

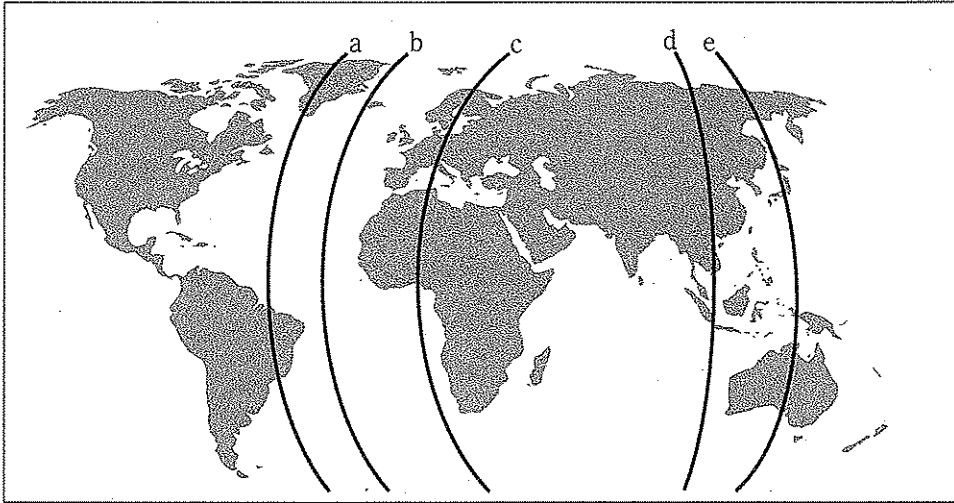
問13 17世紀にオランダは積極的に海外進出をした。下記の出来事のうち、その例とはいえないものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アンボイナ事件
- b 「鎖国」体制の日本との貿易
- c ゴアの獲得
- d ケープ植民地の建設
- e セイロン島の支配権獲得

問14 17世紀のオランダの繁栄を支える新興市民の集団肖像画を描いた、オランダ画派の画家は誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a レンブラント
- b フェルメール
- c ルーベンス
- d ファン=ダイク
- e ファン=アイク

問15 大航海時代の海外領土分割線を定めたトルデシリャス条約の分割線は、下記地図の a～e のどれか。あてはまる記号を選びなさい。



3 次の文章(I～II)を読み、問(1～15)に答えなさい。解答は、選択肢(a～d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(I) アメリカ＝イギリス(米英)戦争後のアメリカ合衆国では、保護関税政策によってイギリスの工業製品の流入が抑えられ、北東部を中心に工業化が進んだ。それとともに運河や鉄道などの輸送網が整備された。しかし一方で南部はイギリスの綿工業に綿花を供給する役割を担い、労働力を奴隷制度に頼っていた。^(ア)両地域の異なる経済的利害はやがて、(1)と(2)を主張する北部と、(1)と(2)に反対し奴隷制度の維持を主張する南部との戦争に発展した。^(イ)

南北戦争は北軍の勝利に終わり、以後アメリカ合衆国の経済は北東部主導で展開していく。北東部を支持基盤とする共和党政権は南部の再建にも着手した。奴隷制度から解放された南部の黒人は、法的には移動や職業選択の自由を得たが、実際にはシェアクロッパーとして苦しい生活を送った。^(エ)しかも南部で

は19世紀末にかけて州や自治体で黒人を差別する法律が制定された。一方、西部では自営農民が拡大生産されていった。しかしこの過程は先住民(インディアン)の生活圏を圧迫し、隣国メキシコからテキサスをはじめとする広大な領土を奪うことによって達成されたものでもあった。

問1 下線部(ア)が始まった年はどれか。

- a 1812 b 1814 c 1822 d 1824

問2 下線部(イ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a イギリスでは18世紀初頭、インドから輸入された綿織物が毛織物業者の強い抵抗を受けて輸入禁止になったが、かえってイギリス国内で木綿生産を促す結果となった。
- b 18世紀後半のイギリスで綿工業は産業革命を牽引する産業へと発展し、綿花の需要が高まった。
- c ホイットニーの水力紡績機の発明によって、アメリカの綿花生産量は激増した。
- d アメリカ南部では18世紀末以降、奴隷労働による綿花プランテーションが発展した。

問3 空欄(1)と(2)に入る語の正しい組み合わせはどれか。

- a 保護貿易 — 州の自治 b 自由貿易 — 連邦制
- c 自由貿易 — 州の自治 d 保護貿易 — 連邦制

問4 下線部(ウ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 西部に新しい州が成立する際、とりわけ南北の境界領域に位置する州では奴隷制を採用するか否かが争点となった。
- b リンカンが大統領就任に際して奴隷解放宣言を発したことが開戦の発端となった。
- c 南部諸州はアメリカ連合国を結成し、リッチモンドを首都に定めた。
- d 自営農民の育成を目的としたホームステッド法がリンカンのもとで制定されたため、西部農民の多くは北軍を支持した。

問5 下線部(エ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a プランテーションは小区画に分けられ、農具・住居・種子とともに小作人に貸し出された。
- b ほとんどの黒人には教育や職業経験がなく、財産もなかった。
- c 小作人は収穫の半分程度を納めなければならず、経済的に困窮した。
- d 南部の黒人農民層の不満の受け皿となったのは民主党であった。

問6 下線部(オ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a バスや鉄道などの公共交通で、黒人と白人を隔離する法律が制定された。
- b 学校や食堂などの公共施設で、黒人と白人を隔離する法律が制定された。
- c 州法で黒人の被選挙権が認められず、黒人は議員になれなかった。
- d これらの法律が撤廃されるのは、1964年の公民権法によってである。

問7 下線部(カ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a メキシコ政府の推奨のもと、1830年代にアメリカ系住民のテキサスへの移住が急速に進んだ。
- b アメリカ系住民は1836年にテキサス独立を宣言し、テキサス共和国を発足させた。
- c テキサス共和国の要請を受けたアメリカ合衆国政府は1845年に併合を宣言した。
- d 1846年に始まったメキシコとの戦争の結果、アメリカ合衆国はテキサスのみならず、フロリダとカリフォルニアも獲得した。

(II) アメリカ合衆国は、1860年から1900年の間に工業生産額が4倍に増加し、世界最大の工業国になった。しかし工業化の担い手は巨大企業であり、トラストが形成されて独占が進行した。この時期には労働者の組織化も進んだが、アメリカ合衆国では労働者の上昇志向が強く、民族構成の多様性もあって、ヨーロッパほど強力な労働組合運動には発展しなかった。労働者の多くは移民であり、急速な経済発展のもたらす労働者不足、比較的高い賃金、そして独立自営農民への道に惹きつけられてヨーロッパやアジアから大量の移民が流入したが、民族構成が多様化するにつれて、特定の移民を差別する傾向も強まった。

19世紀末には東部と五大湖沿岸の工業製品、西部と南部の食糧や原材料が輸送網で結ばれ、広大な国内市場が形成された。1869年の大陸横断鉄道の完成は大陸国家アメリカの誕生を象徴する出来事であった。20世紀に入ると(3)すなわちそれまでの自由放任主義を修正し、連邦政府による規制を容認する政治思潮が強くなった。第一次世界大戦後のアメリカ合衆国では豊かさが国民に広く共有されていく。1920年代には自動車に象徴される大量生産・大量消費の時代を迎え、アメリカ的生活様式が確立するが、不寛容な傾向も表面化した。

問8 下線部(キ)の説明としてもっとも適切なものはどれか。

- a 同一産業の複数企業が、独立性を維持しながら価格や生産量に関して協定を結ぶこと。
- b 同一産業の資本が有力企業のもとに吸収・合併されること。
- c 異なる産業間の企業が、株式保有を通じて単一の資本系列のもとに統括されること。
- d 銀行資本と産業資本が融合すること。

問9 下線部(ク)に関して、1886年に成立した熟練労働者による職業別組合の連合組織の名称はどれか。

- a 産業別組織会議(CIO)
- b 世界産業労働者同盟(IWW)
- c アメリカ労働総同盟(AFL)
- d 労働代表委員会

問10 下線部(ケ)に関して、アメリカ合衆国の移民法の説明として誤っているものはどれか。

- a 1882年移民法はアイルランドからの移民を制限した。
- b 1882年移民法は中国系移民を禁止した。
- c 1924年移民法は東欧・南欧からの移民を制限した。
- d 1924年移民法は日本を含むアジア諸国からの移民を全面禁止した。

問11 下線部(コ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a この年に開通したのは、ニューオーリンズとロサンゼルスを結ぶ区間であった。
- b 東と西から建設が進んだ鉄道は、ユタ州プロモントリーで結ばれた。
- c 鉄道建設を担った主な労働力として、東からはアイルランド系移民、西からは中国系のクーリー(苦力)が使われた。
- d 開通から約20年後、アメリカ合衆国政府はフロンティアの消滅を宣言した。

問12 空欄(3)に入る言葉はどれか。

- a 偉大な社会
- b ニューディール
- c 平常への復帰
- d 革新主義

問13 下線部(㉔)に関して、この時期のアメリカ合衆国の国際的地位と行動に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 連合国への軍需物資の輸出で経済発展を遂げ、戦後には債権国となった。
- b 第一次世界大戦で疲弊したヨーロッパ諸国に代わり、欧米地域の新たな安全保障体制の構築を主導した。
- c 19世紀末の大海軍論を受けて、海軍力が大幅に強化された。
- d 建艦競争の激化を抑制するため、イギリス・フランス・日本と軍縮条約を結んだ。

問14 下線部(㉕)に関して、1920年代に普及するようになったものとして誤っているものはどれか。

- a ラジオ
- b ハリウッドで製作される有声映画
- c ジャズやロックなどの大衆音楽
- d 冷蔵庫や洗濯機などの家庭電化製品

問15 下線部(ス)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 伝統的な白人社会の価値を背景に禁酒法がしかれ、酒類の製造・販売・運搬・輸出入が禁止されていた。
- b 復活したクー=クラックス=クラン(KKK)が、カトリックやユダヤ教徒への排撃を強めた。
- c イタリア系移民が証拠不十分なままに殺人犯として死刑宣告されたサッコ・ヴァンゼッティ事件が起こった。
- d 女性参政権運動が盛んになったが、保守層の根強い反対から実現しなかった。

4 次の文章を読んで、後の問(1～4)に答えなさい。

19世紀後半から第一次世界大戦までの間、帝国主義は頂点を迎え、列強^(ア)による世界の分割が進んだ。しかし、この時期のヨーロッパは比較的平穏で、列強は緊張を孕みつつも、勢力の均衡を保ってきた。しかしその一方で、古くから広域支配を続けてきた二つの隣り合う帝国が、ゆっくりと瓦解しようとしていた。オスマン帝国^(イ)とオーストリア=ハンガリー帝国である。

19世紀に入ると、オスマン帝国内のヨーロッパでは民族主義^(A)が台頭し、(1)や(2)、(3)、ルーマニア^(ウ)などが、帝国から独立しようとしていた。そのうち、(1)はすでに1829年に独立しており、後のイタリア^(エ)やドイツの統一と並んで、国民国家^(B)理念の高揚に寄与した。さらに(4)条約により(2)・ルーマニア^(ウ)等の独立や(3)の自治国化が認められ、オスマン帝国のヨーロッパ領は大幅に縮小した。(4)条約はまた、オーストリア=ハンガリー帝国に(5)の統治権を与えた。しかし、オーストリアにとってこれは必ずしもメリットとはならず、むしろ統治基盤を危うくする民族主義^(A)の運動に苦しめられることになる。

この時期はヨーロッパにとって大量移民の時代でもあった。中・東欧には、ロシアの(6)から逃れたユダヤ教徒^(オ)が流入した。しかし、とくに20世紀に入っ

てからは、人口流出のほうが圧倒的に多くなる。世界的な資本主義体制の確立過程の中で、中・東欧は西欧諸国に農産物を供給し、工業製品を輸入するという経済構造になっていた。そのため新しい産業が育ちにくく、困窮した住民の流出が多くなったのである。

一方、同時期に進んだのが労働者の組織化である。まず西欧各国で、労働組合やその全国組織、これを支持母体とする政党が誕生した。さらに、ポーランドの民族蜂起を支援する活動家たちが結成した(7)のように、国境を超えて労働者の連帯が広がった。中・東欧は、こうした社会主義運動と上記の民族主義とが併存する場所になった。

(2)の青年によるテロから始まった第一次世界大戦は、上記の両帝国を消滅させ、中・東欧に多くの独立国家をもたらした。同時に、大戦は労働組合の地位向上をもたらした。世界初の総力戦が繰り広げられるなか、労働組合もまた政府への協力体制に参加したため、発言力が高まったからである。

問1 空欄(1～7)に入る言葉を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- (1) a ギリシア b セルビア c ブルガリア
d モンテネグロ e ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- (2) a ギリシア b セルビア c ブルガリア
d モンテネグロ e ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- (3) a ギリシア b セルビア c ブルガリア
d モンテネグロ e ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- (4) a ロンドン b ベルリン c カルロヴィッツ d パリ
e アドリアノーブル
- (5) a ギリシア b セルビア c ブルガリア
d モンテネグロ e ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- (6) a シオニズム b ディアスポラ c ペレストロイカ
d ポグロム e ホロコースト
- (7) a 第1インターナショナル b 第2インターナショナル
c コミンテルン d コミンフォルム e コメコン

問2 下線部(A～E)に関する以下の問に答えなさい。

(A)に関する説明で、誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ナショナリズムの訳語であるが、ナショナリズムには国民主義、国家主義という意味もある。
- b 他民族の支配下にある民族が、独立を目指す思想や運動として現れた。
- c パン＝スラブ主義の中心となったハンガリーでとくに強い運動がみられた。
- d ひとつの成果として、ウィルソンの十四カ条の中で民族自決が明言された。
- e 民族がモザイク状に分布している東欧では、国境線の引き方によって民族紛争が起りやすかった。

(B)に関する説明で、適切ではないものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 一定の領域において領域内住民の統合が進み、国民という観念が生じるなかで、近代国家の理念として出現した。
- b フランス革命以降ヨーロッパへ、そののち世界に広まっていった。
- c 君主の主権下で、国民が身分制階層秩序で統治されている国家を指す。
- d 平等な国民意識をもった市民が国家を構成するという理念に基づいている。
- e 一国家の領域内には一国民しかいないという前提に基づいている。

(C)に関する説明として、誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 農地を所有する大地主が経済の主導権を握る体制である。
- b この体制は、産業革命以降、世界を工業製品生産地と農産物供給地とに二分した。
- c 生産手段を有する企業や個人が資本を投下し、労働者を雇って商品を生産・流通させるシステムのことをいう。
- d マルクスは、資本主義体制の没落は歴史の必然であると説いた。
- e この体制は、高い生産力と大きな利潤を生み出す反面、貧富の格差を拡大した。

(D)について、自国の労働組合の全国組織化に活躍した人は誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ラダイト b オーウェン c マルクス d サン＝シモン
- e フーリエ

(E)の例として、以下の政党の設立年を年代順に並べると、3番目に来るのは何か。あてはまる記号を選びなさい。

- a イギリス労働党 b ドイツ社会民主党
- c ドイツ社会主義労働者党 d ロシア社会民主労働党
- e ロシア共産党

問3 二重下線部(ア～オ)に関する以下の問に答えなさい。

(ア)の間でこの時期に締結された条約や開催された会議とは言えないものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ベルリン会議 b 三国同盟 c 三帝同盟 d 再保障条約
- e 四国同盟

(イ)のオスマン帝国，オーストリア，ハンガリーに関する以下の記述を，年代順に並べると，3番目に来るのはどれか。あてはまる記号を選びなさい。

- a オスマン帝国が，モハーチの戦いでハンガリーに勝利した。
- b 三月革命の中で，ハンガリーは樹立した責任内閣の承認をオーストリアから勝ち取った。
- c オーストリアが，カルロヴィッツ条約でハンガリー全域を獲得した。
- d スレイマン1世が，12万の軍でウィーンを包囲した。
- e オスマン帝国は，ウィーンを包囲したものの，オーストリアに敗北した。

(ウ)に関する下記の説明で，誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a オスマン帝国服属下でモルダヴィア・ワラキアが連合公国を形成し，2年後にルーマニア自治公国となった。
- b ルーマニア人の中では，ラテン系の民族意識が強かった。
- c ルーマニア人は9世紀にローマ・カトリックを受け入れた。
- d 14世紀にワラキア公国・モルダヴィア公国を建てた。
- e オスマン帝国からの独立を獲得したのは，1878年である。

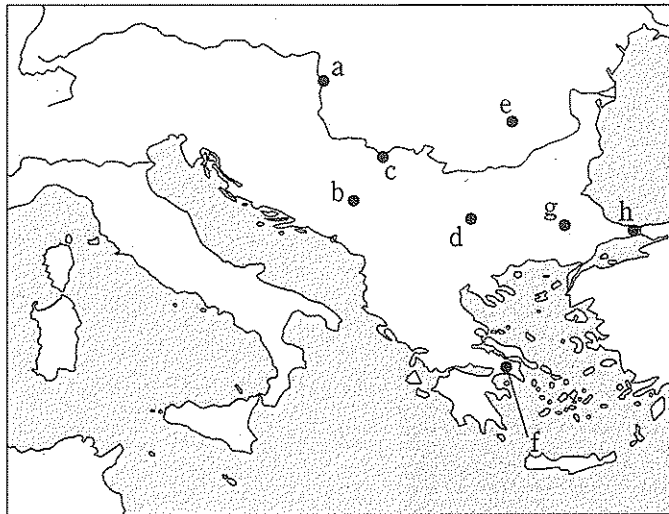
(エ)に関して，1861年のイタリア王国成立時点で，このイタリア王国に含まれていなかったのはどこか。選択肢(a～e)からあてはまるものをすべて選びなさい。

- a ヴェネツィア b トリエステ c ナポリ d シチリア
- e サルデーニャ

(オ)に関する記述で誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ユダヤ教は、ユダヤ人の民族宗教であり、選民思想・メシア信仰などを特色とする。
- b ユダヤ教における最後の審判や天使・悪魔の思想には、『マヌ法典』の影響がみられる。
- c 彼らの聖典は、キリスト教徒の『旧約聖書』にあたる。
- d 中世キリスト教世界では、彼らは農地を所有できないので、金融・商業を営むことが多かった。
- e 十字軍時代には、反ユダヤ主義に基づく迫害が激しくなった。

問4 下記の地図に関する問(1～2)に答えなさい。



- (1) 空欄(2)の首都に当たる地図上の記号を、選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- (2) 空欄(3)の首都に当たる地図上の記号を、選択肢(d～h)から1つ選びなさい。

